



医学系分館 増改築マスタープランの 検討状況について

昨年度実施した附属図書館自己点検評価の中で、医学系分館の老朽化への対応が緊急の課題として指摘されました。これを受け、今年度、医学系分館将来構想検討ワーキンググループ(以下WG)を図書館委員会の下に設置し、医学系分館に求められる機能やサービスについて検討を行ってきました。ここでは、その検討状況と今年度の整備内容について報告します。

1 医学系分館の増改築のマスタープラン

医学系分館の増改築計画についての平成22年度概算要求は、残念ながら認められませんでした。WGでは、より良い図書館を実現するための計画を引き続き検討し、次年度も要求予定です。

WGでは、柴田附属図書館長を座長とし、学生委員を含む10名で検討を行ってきました。マスタープランとなるWG報告書は、新年度当初に完成予定です。以下、増改築計画のコンセプトと強化すべきポイントを中間報告としてお知らせします。

■強化ポイント

1. **学習支援** 開架図書コーナー／留学生用図書／自習スペース(個席・グループ席)／開館日・時間の延長／検索能力・表現能力の向上に役立つ情報リテラシー教育／ラーニング・コモンズ／アメニティ・スペース
2. **研究・診療支援** 学術雑誌等の保存スペース／本学固有の貴重資料の保存・展示スペース／診療活動に役立つ情報提供／研究者・診療スタッフを対象としたE J・DBの利用説明会
3. **地域貢献** 附属病院図書室(附属病院で計画中)と連携した一般市民への情報提供サービス／地元の医療関連団体等の連携

医学系分館の増改築

— 次世代ハイブリッド医学図書館を目指して —

- 老朽化が激しく、耐震も不安(築40年経過)
- 収蔵能力の限界を突破(収蔵比率117%)
- 先端的医学情報基盤の整備

増改築

「機能的」で「快適」な利用環境と先端的医学情報基盤を備えた次世代ハイブリッド医学図書館の実現

[1] 知的生産性を向上させる機能的で快適な学習支援の「場」

- ラーニングコモンズ
- 情報リテラシー教育の実現
- 個席・グループ学習スペース
- アメニティ・スペース

学習支援

[2] 研究・診療活動を活性化し、知を継承する医学情報の収集・発信・保存の「場」

- 電子ジャーナル
- データベース
- 学術雑誌
- 貴重書

研究・診療支援

地域貢献

[3] 地域のための医療情報の収集・発信・啓蒙の「場」

- 市民や患者のための医学情報提供
- 附属図書館内図書室との連携



図書館の機能とデザイン

[4] サービスの基盤となる環境や安全・安心に配慮した設計・デザイン

- 環境への配慮
- 安心・安全設計
- キャンパスマスタープランとの整合

次世代ハイブリッド医学図書館
～印刷物からデジタルまで～



2 今年度の整備内容

今年度、計画の策定と並行し、「当面の改善」として、次のような整備を行いました。その概要をご紹介します。いずれも増改築が実現した後も継続して利用可能なものです。

2階 情報ラウンジ

- 学生インターネット検索用パソコンを2台追加(合計12台)
- 机を更新し、次年度以降さらにパソコンを追加できるようレイアウトを変更



新情報ラウンジ

1階 入口,カウンター付近

- 図書無断持出禁止装置を更新,入退館ゲートを新設
- 閲覧カウンター横の電子ジャーナル検索用パソコンをWindows7のものに更新・追加(合計4台)
- カウンター付近の机・椅子を更新,パンフレットスタンド類を購入し,カウンターまわりの外観を改善



新入退館システム・ゲート

閲覧室

- 学生のニーズに答え,閲覧机・椅子(16席)を個席タイプに変更(前年度からの継続)
- 雑誌書架を一部撤去し,閲覧室の見通しを改善



右列が新しい閲覧机

資料の整備

- 国家試験対策コーナーを設置するなど,従来以上に学生のニーズに応える資料の整備を実施
- 国内雑誌電子ジャーナルを多数収録したメディカル・オンラインを導入
- 留学生からのニーズに対応し,医学基本書の電子ブック4タイトルを試行的に導入



国試コーナー

Webサイトの充実

- 本学における医学情報検索のポータルを目指し,レイアウト・コンテンツを一新
- 分館の活動を外部に見えるように最新情報をブログで提供すると同時に宝町の教職員へのメールニュースの送信を開始



医学系分館のWebサイト

(医学系分館係・橋 洋平)